

平成17年度 決算を認定

一般会計 69億2,139万円

(町民1人当たり 36万7,650円)



すべて完成した八尋幸ノ浦の住宅

9月定例会で継続審査としていました各会計の決算を審議の結果、一般会計および住宅新築資金等特別会計は、賛成13・反対2で、その他の会計は全員賛成で認定しました。

平成17年度の主な事業としては、八尋幸ノ浦住宅地区改良事業、特定地域開発就労事業による道路改良工事、小・中学校施設整備事業、古門大谷自然公園整備事業があげられます。

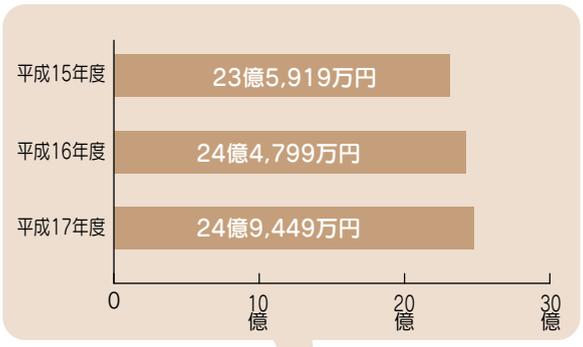
また、収入面については、前年度と比較して、全体で4億7866万円の減収となつています。中でも町債が3億6300万円、国庫支出金は2億3953万円減収となりました。

会計別決算状況

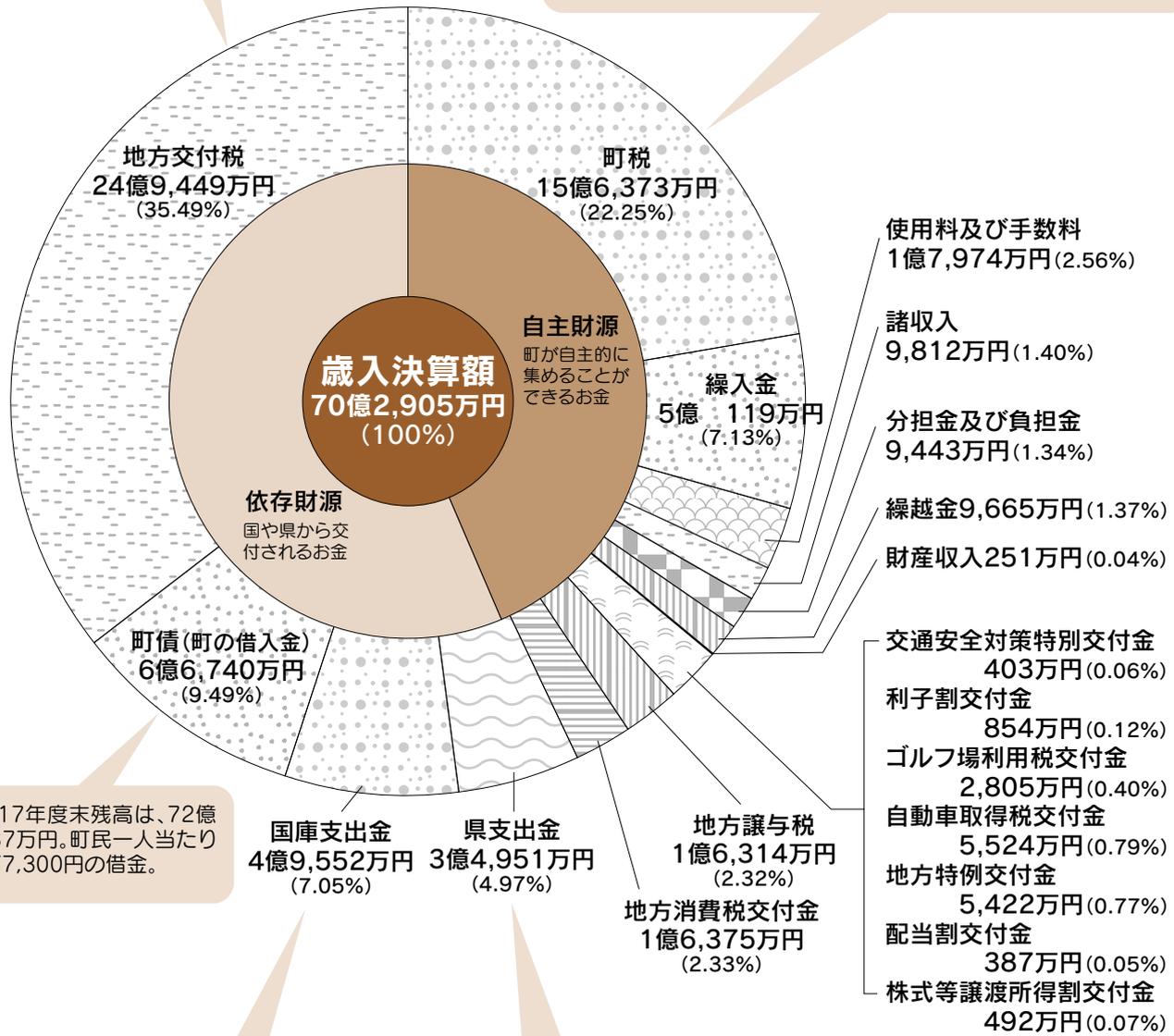
会計名		歳入	歳出	歳出の前年度との比較(%)
一般会計		70億2,905万円	69億2,139万円	93.4%
特別会計	国民健康保険事業	18億 964万円	18億5,757万円	109.5%
	老人保健	23億9,584万円	23億5,722万円	95.3%
	かんがい揚排水施設維持管理運営費	3,930万円	3,930万円	105.5%
	住宅新築資金等	563万円	559万円	100.0%
	流域関連公共下水道事業	7億7,439万円	7億7,242万円	100.3%
	谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費	615万円	615万円	80.6%
水道事業会計	収益的収支	4億3,642万円	4億1,447万円	110.9%
	資本的収支	1,979万円	1億2,690万円	112.8%
病院事業会計	収益的収支	27億6,773万円	29億2,341万円	106.8%
	資本的収支	6,235万円	2億 657万円	113.5%
介護老人保健施設事業会計	収益的収支	2億8,834万円	2億7,988万円	103.8%
	資本的収支	312万円	681万円	195.7%

7年度 会計

財源 (歳入)



税目	収入額	割合
町民税	6億 17万円	38.38%
固定資産税	8億1,389万円	52.05%
軽自動車税	3,369万円	2.15%
町たばこ税	1億1,598万円	7.42%
合計	15億6,373万円	100%



平成17年度末残高は、72億9,137万円。町民一人当たり38万7,300円の借金。

- 特定地域開発就労事業 1億3,578万円
- 住宅費補助金 9,616万円
- 知的障害者保護費負担金 6,927万円
- 都市計画費補助金 4,700万円
- 社会福祉費補助金 956万円

- 農業費補助金 7,167万円
- 国民健康保険基盤安定負担金 5,744万円
- 知的障害者負担金 3,295万円
- 重度心身障害者医療費補助金 3,307万円
- 身体障害者保護費負担金 1,234万円

使いみち
(歳出)

- 議員報酬 5,097万円
- 政務調査費 382万円
- 会議録速記料 308万円

- 町制50周年事業費 1,025万円
- 町長・町議補欠選挙 198万円
- 衆議院議員選挙 904万円
- 国勢調査 832万円
- 交通安全施設整備費 441万円

○室木小学校入水槽修繕340万円

総合福祉センター建設等の借入金
など

- 外国青年招致費用 529万円
- 剣南小耐震補強工事 2,294万円
- 給食センターボイラー取替工事 545万円
- 野球場安定器取替工事費 460万円

災害復旧費
340万円
(0.05%)

議会費
1億0,906万円
(1.58%)

- 介護保険広域連合負担金 2億1,857万円
- 身体障害者支援事業費 1億7,998万円
- 老人保健会計繰出金 1億9,031万円
- 国民健康保険負担金 8,996万円
- 児童手当費 7,928万円
- 重度心身障害者医療費 7,340万円
- 社会福祉協議会補助金 5,159万円
- 「鞍寿の里」繰出金 5,109万円
- 敬老祝い金 659万円

借金の返済
9億1,027万円
(13.15%)

総務費
9億6,573万円
(13.95%)

教育費
4億8,861万円
(7.06%)

消防費
3億2,129万円
(4.64%)

歳出決算額
69億2,139万円
(100%)

民生費
17億9,097万円
(25.88%)

土木費
10億3,526万円
(14.96%)

- 直鞍広域消防負担金 2億8,492万円
- 防火水槽(2ヶ所) 724万円

- 町立病院繰出金 1億9,476万円
- じん芥に係る経費 2億6,240万円
- 衛生センターに係る経費 1億3,147万円
- 上水道事業繰出金 2,077万円
- 合併浄化槽補助金 1,277万円
- 葬斎場修繕費 462万円
- ふれあいフェスタ 180万円

衛生費
7億7,122万円
(11.14%)

商工費
3,389万円
(0.49%)

農林水産業費
1億4,564万円
(2.10%)

労働費
3億4,605万円
(5.00%)

- 大谷自然公園整備工事 9,596万円
- 町営住宅管理費 5,483万円
- 住宅地区改良事業費 2億 69万円
- 乙ヶ谷ため池補修工事費 1億3,898万円
- インターアクセス道路負担金 1,650万円
- 山田川水利組合負担金 700万円

- 西川線、中山・中間線路線バス運行負担金 1,105万円
- 商工会補助金 994万円
- 産業まつり補助金 230万円
- 信用金庫預託金 500万円

- 計画転作互助方式推進事業補助金 2,586万円
- 競争力ある土地利用型農業育成事業補助金 1,341万円
- 農業育成費交付金 1,100万円
- 鉱害被害者組合補助金 20万円

- 特定地域開発就労事業
- 白水～大谷線道路改良工事 6,182万円
 - 長崎～藤郷線道路改良工事 1億9,630万円

17年度決算を見る 監査意見から

一般会計

平成17年度決算は、町税、地方交付税、国庫支出金、町債の延びと繰越金で、年間8回の補正を行っています。町の行財政が国に頼る部分が大きいため、年途中における変動はやむを得ないと思われるが、最小限度にとどめる努力を今後も期待する。

本年度の主な事業としては、八尋幸ノ浦住宅地区改良事業、大谷自然公園整備事業、特定地域開発就労事業や小中学校施設整備事業があげられる。

財政状況の推移	15年度	16年度	17年度
財政力指数	0.440	0.444	0.439
経常収支比率	88.9%	88.6%	89.8%

財政力指数は、「1」に近くあるは「1」を越えるほど財政に余裕があることを示す。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を測定する数値。85%を越えると危険ゾーン。

正しい納税で 明るい町づくり

自主財源の主たる町税は、徴収努力をしているものの、依然として滞納が累積している。

常習滞納者が多く、他の納税者との税負担の公

平の原則からしても、差押え等の適切な滞納処分措置を講じて、滞納を減らすよう職員のさらなる努力を望む。

その他の会計

国民健康保険事業は、1374万円の赤字となっており、今後も医療費の抑制に創意工夫され、保険事業の安定に努力されることを期待する。

老人保健事業の収入額

は前年度と比べ、約7466万円減少している。しかし、支出で医療諸費が前年度より1億1106万円ほど減少。高齢者人口増加にともなう医療費の増加を防ぐため、健康管理など指導面にも一層の努力を期待する。

住宅新築資金貸付金は、

同和地区における環境の整備改善を図る目的で住宅の新築または改修等に対して資金を貸し付けるものである。収入率16.7パーセントを上回るよう、次年度の努力を要望する。

水道事業は1840万円の純利益を上げ、前年度同様健全な運営が図られている。今後も健全経営の向上と、住民の要求する「おいしく安全な水」を供給できるようさらなる努力を期待する。

病院事業は、本年度1億5734万円の純損失

を生じている。今後も質の高い医療を提供するとともに、経営についても一層の努力を要望する。

介護老人保健施設事業

は、842万円の純利益を上げている。稼動状況については、入所者数延べ1万7939人、通所者数延べ4946人で、通所者数の利用率は前年度より4.6%増加している。国の福祉情勢が非常に厳しい中、地域住民が利用しやすい施設運営に努め、同時に経費節減を図ることを期待する。

町税滞納額

1億8千万円

税目別滞納額の推移	平成15年度	平成16年度	平成17年度
町民税	6,770万円	6,379万円	5,995万円
固定資産税	1億4,051万円	1億1,719万円	1億1,512万円
軽自動車税	494万円	525万円	525万円
合計	2億1,315万円	1億8,623万円	1億8,032万円

納入金未納額の推移	平成15年度	平成16年度	平成17年度
町営住宅家賃	1,146万円	1,341万円	1,181万円
保育料	259万円	343万円	462万円
国保税	1億4,507万円	1億4,414万円	1億4,808万円
住宅新築資金貸付金	2,495万円	2,664万円	2,806万円